

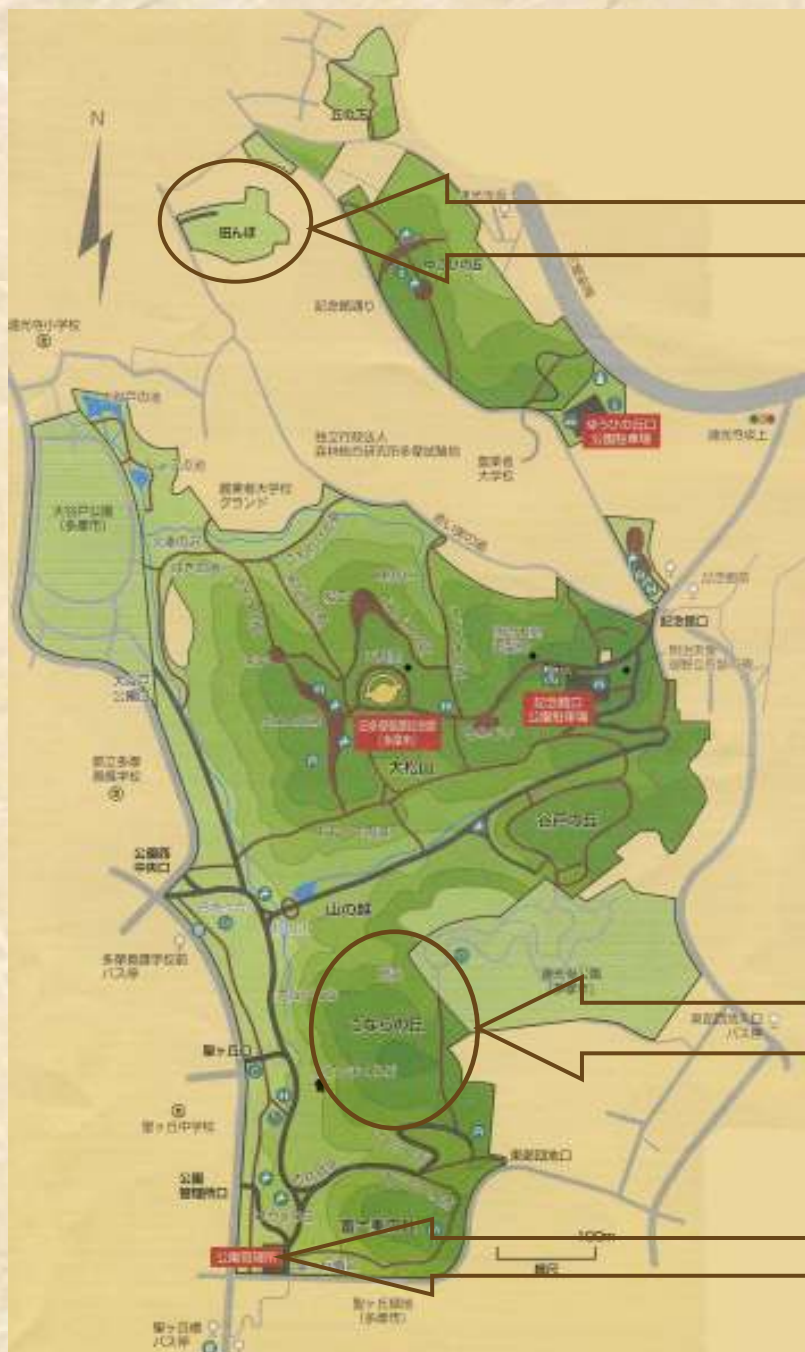
第1回公園ボランティア交流会



雑木林管理 理念と現実



桜ヶ丘公園雑木林ボランティア
岸本 剛一



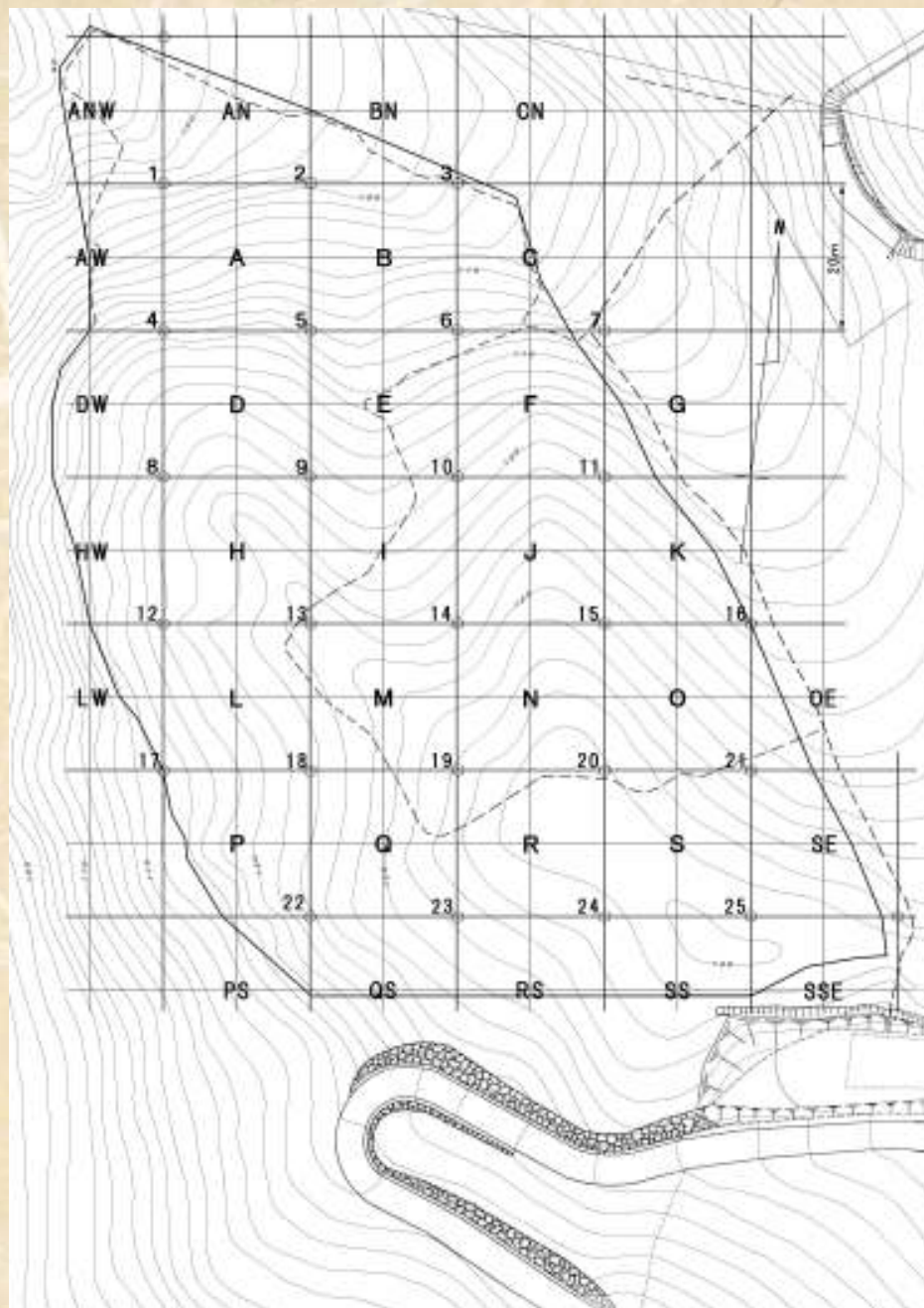
たんぼ



桜ヶ丘公園

こならの丘
(雑木林)

ボランティアルーム



こならの丘

雑木林ボランティア



- 多摩丘陵
 - 大消費地江戸／東京への食料、燃料供給
- 燃料革命、化学肥料の普及
 - 雑木林の放置
- 都立公園での雑木林再生
 - 都民のボランティア
- 現在登録約60名、常時活動約20名
- 公園協会の助成で道具・資材を整備

雑木林



- 木
 - クヌギ、コナラ
 - 炭、薪、茸原木
- 落葉
 - 堆肥
- 笹
 - アズマネザサ
 - 目籠(めかい)



雑木林の管理



- 地域の農家の長老から教えを受けた
- 8～12年サイクルで更新
 - まとまった地域を皆伐
 - 切った木は薪炭材に
 - 萌芽更新
 - 実生にくらべはるかに早い成長
 - 皆伐後3年程度は手をつけない
 - 成長期の管理
 - 下草刈り
 - 落ち葉掃き



皆伐したエリア



皆伐1年後のエリア



萌芽



放置された雑木林

放置された雑木林の回復



- 前記の管理手法を適用したが・・・
- 木の老化
 - 萌芽が出ない、出ても折れやすい→更新失敗
 - 実生幼樹の保護、植樹で補う必要
- 笹が圧倒的
 - 萌芽に日が当たらない
 - 切ってもすぐ回復する
 - 笹刈りを繰り返す必要

下草



- 氷河時代の生き残り
 - 春に咲き、夏は樹冠の下で涼しくすごす
- 最初の皆伐後
 - 永年の暗闇に耐えて残った種子が一斉に開花
 - 笹に負けて、種子を残せなかった
- 下草の保護、育成
 - 笹の伐採で不用意に刈ってしまう危険



イチリンソウ



キンラン

改善策



- 笹刈りの強化
- 実生の保護
- 植樹
 - 苗木畑
- 間伐、除伐
 - 日照の調整
- 草花の保護
- 試行錯誤の中から徐々に成果

たんぼとの関係



- 田畑と雑木林はワンセット
 - 雑木林の落葉を肥料に
- 離れた地域の放置された棚田の再生に着手
 - 目的は棚田の景観の回復
 - アシとの戦い
 - 一部で稲作し、米を収穫するようになっている
- 雑木林と別行動のきらい



その他の活動・イベント



- さつまいも栽培
- きのこ栽培
- 目籠づくり
- ニュース発行
 - 2004年から自主発行
- どんぐり祭り
 - やきいも・落ち葉プール・きこり体験
 - 竹笛・ペンダント・リースづくり
- 餅つき・草木染
- 炭焼きー現在は中断
- 昆虫観察
- 野鳥観察

どんぐり祭り



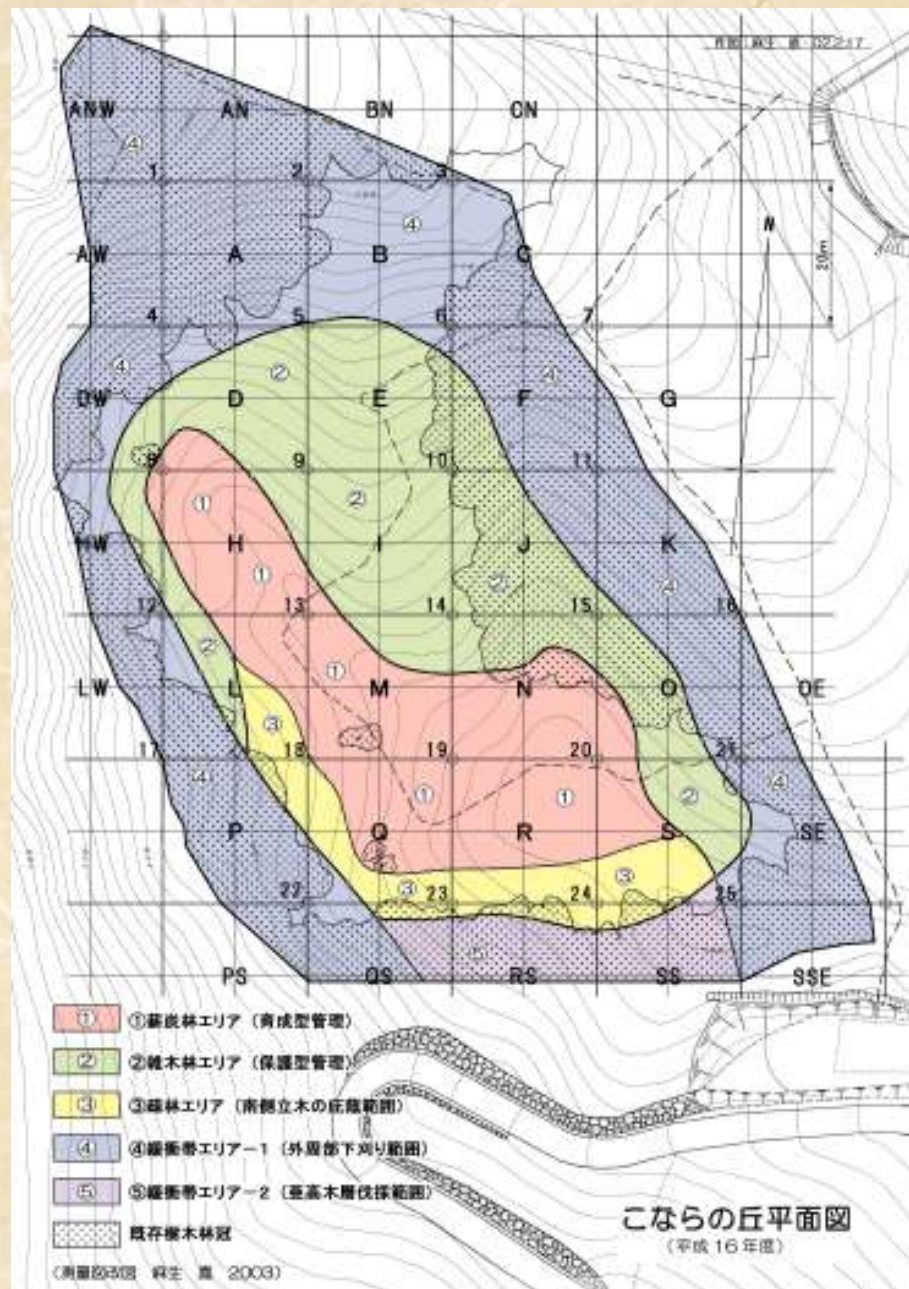
炭焼き・餅つき・草木染



今後



- 2007年2月に最初の皆伐からの再生林を皆伐
 - 初期段階を終え安定期に入った
- 今後毎年一定区域を皆伐して安定サイクルをめざす
- 下草の保護育成を重視するエリアと伝統的雑木林作業エリアに分けて管理



薪炭林と保護林

2008.3.10 桜ヶ丘公園雑木林ボランティア